



日文研 30周年
NICHIBUNKEN 30TH ANNIVERSARY

日文研シンポジウム

妖怪データベースからの創造

—公開15周年記念シンポジウム

全体進行

今井秀和 (日文研機関研究員)

基調講演 「妖怪データベースは役に立ったか？」

小松和彦 (日文研所長)

報告 「妖怪データベースの使われ方」

山田奨治 (日文研教授)

パネル討論 「妖怪研究から文化創造へ」

パネリスト

峰守ひろかず (小説家)

伊藤慎吾 (学習院女子大講師、日文研客員准教授)

松村薫子 (大阪大准教授)

郡司聡 (株) KADOKAWA 執行役員、『怪』特別編集顧問)

司会

安井真奈美 (日文研教授)



入場無料 先着500名 申込み不要 無料送迎バスはございません

2017年7月29日(土) 14:00 - 16:30 (開場13:15)

国際日本文化研究センター内講堂 (日文研ホール)

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

後援：基幹研究プロジェクト「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」(近世班)

開催趣旨

日文研の「怪異・妖怪伝承データベース」は、公開から15周年を迎えました。日文研の妖怪系のDBは、研究に役立てられているだけでなく、小説や広告、出版などのクリエイティブ分野にも活用されています。このシンポジウムでは、妖怪研究のデータを創造分野で活用してきた方々と研究者をお招きし、DBの発展の方向性を議論します。

パネル討論趣旨「妖怪研究から文化創造へ」

妖怪研究によって集積された情報から、新たな文化が創造されています。日文研の妖怪データベースを活用して小説『ほうかご百物語』シリーズ(アスキー・メディアワークス—KADOKAWA)等を著した峰守ひろかず氏、大衆文化のなかの妖怪文化を研究する伊藤慎吾氏、「妖怪地域おこし」を研究する松村薫子氏、雑誌『怪』を創刊して最近20年間の妖怪ブームを創ってきた郡司聡氏が、ご自身の実践とこれからの妖怪文化、データベースの未来を語ります。

小松 和彦

東京都立大学大学院博士課程単位取得退学。専門は民俗学。日文研の「怪異・妖怪伝承DB」「怪異・妖怪画像DB」を監修。著書に『憑霊信仰論 妖怪研究への試み』(伝統と現代社,1982;講談社学術文庫,1994)、『妖怪文化入門』(せりか書房,2006;角川文庫,2012)、『百鬼夜行絵巻の謎』(集英社文庫ビジュアル版,2008)など。2016年、文化功労者顕彰。

山田 奨治

筑波大学大学院修士課程修了。京都大学博士(工学)。専門は情報学と文化交流史。日文研の「怪異・妖怪伝承DB」「怪異・妖怪画像DB」のシステム開発を担当。著書・編書に『マンガ・アニメで論文・レポートを書く』(ミネルヴァ書房,2017)、『日本の著作権はなぜもっと厳しくなるのか』(人文書院,2016)、『日本怪異妖怪大事典』(東京堂出版,2013)など。

峰守 ひろかず

『ほうかご百物語』で2007年に第14回電撃小説大賞(大賞)受賞。著書に『絶対城先輩の妖怪学講座』シリーズ(アスキー・メディアワークス—KADOKAWA,2013)、『お世話になっております。陰陽課です』シリーズ(KADOKAWA,2015)、『ほうかご百物語』シリーズ(アスキー・メディアワークス—KADOKAWA,2008)など。

伊藤 慎吾

國學院大学大学院博士課程単位取得退学。埼玉大学博士(学術)。専門は日本文学、研究テーマは物語学、現代における古典文学の受容。著書に『中世物語資料と近世社会』(三弥井書店,2017)、『室町戦国期の公家社会と文事』(三弥井書店,2012)、『室町戦国期の文芸とその展開』(同,2010)・編書に『妖怪・憑依・擬人化の文化史』(笠間書院,2016)など。

松村 薫子

総合研究大学院大学博士後期課程単位取得退学。博士(学術)。専門は民俗学。単著に『糞掃衣の研究—その歴史と聖性』(法蔵館,2006)・共著に『怪異・妖怪百物語—異界の杜への誘い—』(明治書院,2006)、『ニッポンの河童の正体』(新人物往来社,2010)、『妖怪文化の伝統と創造—絵巻・草子からマンガ・ラノベまで—』(せりか書房,2010)、『河童とはなにか』(岩田書院,2014)など。

郡司 聡

東京外国語大学卒業後、角川書店入社。30年以上書籍編集に携わる。1997年、水木しげる氏、荒俣宏氏、京極夏彦氏らと世界で唯一の妖怪マガジン『怪』を創刊。以後、水木しげる氏らのフィールドワークに随行、怪異妖怪文化の再興に関わる。主な仕事はダン・ブラウン『ダ・ヴィンチ・コード』、京極夏彦『巷説百物語』など。

安井 真奈美

大阪大学大学院博士後期課程修了。博士(文学)。専門は民俗学・文化人類学。著書に『怪異と身体民俗学—異界から出産と子育てを問い直す』(せりか書房,2014)、『出産環境の民俗学—<第三次お産革命>にむけて』(昭和堂,2013)・共著に『モノと図像から探る怪異・妖怪の世界』『モノと図像から探る妖怪・怪獣の誕生』『モノと図像から探る怪異・妖怪の東西』(勉誠出版,2015-2017)など。



お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課
京都市西京区御陵大枝町3-2
WEBSITE <http://www.nichibun.ac.jp>
E-mail: koenkai@nichibun.ac.jp
TEL: 075 (335) 2078
FAX: 075 (335) 2092



交通案内

本シンポジウムにつきましては
無料送迎バスはございません

<交通手段>

「桂坂中央」行きのバスにて
「桂坂小学校前」または「花の舞公園前」下車
■阪急桂駅西口 市バス西5、西6(約30分)
■JR京都駅 京阪京都交通バス20、20B(約20分)
■阪急洛西口駅 ヤサカバス1、6(約20分)
■JR京都駅 京阪京都交通バス21、21A、26(約45分)
■JR桂川駅 ヤサカバス1、6(約25分)



お車での来場は近隣へのご迷惑となるため、固くお断りしております。但し、車椅子をご利用されている等、公共交通機関での来場が困難であり、お車での来場を希望される場合は、お申込みの際にその旨をお申し出願います。

日文研シンポジウム

妖怪データベース

からの創造

—公開15周年記念シンポジウム

主催…大学共同利用機関法人

人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

後援…基幹研究プロジェクト

「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」(近世班)

全体進行

今井秀和(日文研機関研究員)

基調講演

「妖怪データベースは役に立ったか?」

小松和彦(日文研所長)

報告

「妖怪データベースの使われ方」

山田奨治(日文研教授)

パネル討論

「妖怪研究から文化創造へ」

パネリスト 峰守ひろかず(小説家)

伊藤慎吾(学習院女子大講師、日文研客員准教授)

松村薫子(大阪大准教授)

郡司聡(株)KADOKAWA執行役員、「怪」特別編集顧問

司 会 安井眞奈美(日文研教授)



2017年7月29日(土) 14:00—16:30(開場13:15)

無料送迎バスはございません

入場無料・先着500名・申込み不要

国際日本文化研究センター内講堂(日文研ホール)



日文研 30周年
NICHIBUNKEN 30TH ANNIVERSARY

開催趣旨

日文研の「怪異・妖怪伝承データベース」は、公開から15周年を迎えました。日文研の妖怪系のDBは、研究に役立てられているだけでなく、小説や広告、出版などのクリエイティブ分野にも活用されています。このシンポジウムでは、妖怪研究のデータを創造分野で活用してきた方々と研究者をお招きし、DBの発展の方向性を議論します。

パネル討論趣旨「妖怪研究から文化創造へ」

妖怪研究によって集積された情報から、新たな文化が創造されています。日文研の妖怪データベースを活用して小説『ほうかご百物語』シリーズ（アスキー・メディアワークス—KADOKAWA）等を著した峰守ひろかず氏、大衆文化のなかの妖怪文化を研究する伊藤慎吾氏、「妖怪地域おこし」を研究する松村薫子氏、雑誌『怪』を創刊して最近20年間の妖怪ブームを創ってきた郡司聡氏が、ご自身の実践とこれからの妖怪文化、データベースの未来を語ります。

小松 和彦

東京都立大学大学院博士課程単位取得退学。専門は民俗学。日文研の「怪異・妖怪伝承DB」「怪異・妖怪画像DB」を監修。著書に『憑霊信仰論 妖怪研究への試み』（伝統と現代社, 1982; 講談社学術文庫, 1994）、『妖怪文化入門』（せりか書房, 2006; 角川文庫, 2012）、『百鬼夜行絵巻の謎』（集英社文庫ビジュアル版, 2008）など。2016年、文化功労者顕彰。

山田 奨治

筑波大学大学院修士課程修了。京都大学博士（工学）。専門は情報学と文化交流史。日文研の「怪異・妖怪伝承DB」「怪異・妖怪画像DB」のシステム開発を担当。著書・編書に『マンガ・アニメで論文・レポートを書く』（ミネルヴァ書房, 2017）、『日本の著作権はなぜもっと厳しくなるのか』（人文書院, 2016）、『日本怪異妖怪大事典』（東京堂出版, 2013）など。

峰守 ひろかず

『ほうかご百物語』で2007年に第14回電撃小説大賞〈大賞〉受賞。著書に『絶対城先輩の妖怪学講座』シリーズ（アスキー・メディアワークス—KADOKAWA, 2013）、『お世話になっております。陰陽課です』シリーズ（KADOKAWA, 2015）、『ほうかご百物語』シリーズ（アスキー・メディアワークス—KADOKAWA, 2008）など。

伊藤 慎吾

國學院大学大学院博士課程単位取得退学。埼玉大学博士（学術）。専門は日本文学、研究テーマは物語文学史、現代における古典文学の受容。著書に『中世物語資料と近世社会』（三弥井書店, 2017）、『室町戦国期の公家社会と文事』（三弥井書店, 2012）、『室町戦国期の文芸とその展開』（同, 2010）、編書に『妖怪・憑依・擬人化の文化史』（笠間書院, 2016）など。

松村 薫子

総合研究大学院大学博士後期課程単位取得退学。博士（学術）。専門は民俗学。単著に『糞掃衣の研究—その歴史と聖性』（法蔵館, 2006）、共著に『怪異・妖怪百物語—異界の杜への誘い—』（明治書院, 2006）、『ニッポンの河童の正体』（新人物往来社, 2010）、『妖怪文化の伝統と創造—絵巻・草子からマンガ・ラノベまで—』（せりか書房, 2010）、『河童とはなにか』（岩田書院, 2014）など。

郡司 聡

東京外国語大学卒業後、角川書店入社。30年以上書籍編集に携わる。1997年、水木しげる氏、荒俣宏氏、京極夏彦氏らと世界で唯一の妖怪マガジン『怪』を創刊。以後、水木しげる氏らのフィールドワークに随行、怪異妖怪文化の再興に関わる。主な仕事はダン・ブラウン『ダ・ヴィンチ・コード』、京極夏彦『巷説百物語』など。

安井 眞奈美

大阪大学大学院博士後期課程修了。博士（文学）。専門は民俗学・文化人類学。著書に『怪異と身体民俗学—異界から出産と子育てを問直す』（せりか書房, 2014）、『出産環境の民俗学—〈第三次お産革命〉にむけて』（昭和堂, 2013）、共著に『モノと図像から探る怪異・妖怪の世界』『モノと図像から探る妖怪・怪獣の誕生』『モノと図像から探る怪異・妖怪の東西』（勉誠出版, 2015-2017）など。

交通案内

本シンポジウムにつきましては無料送迎バスはございません

<交通手段>

「桂坂中央」行きのバスにて

「桂坂小学校前」または「花の舞公園前」下車

■阪急桂駅西口 市バス西5、西6（約30分）

京阪京都交通バス 20、20B（約20分）

■阪急洛西口駅 ヤサカバス1、6（約20分）

■JR 京都駅 京阪京都交通バス 21、21A、26（約45分）

■JR 桂川駅 ヤサカバス1、6（約25分）



お車でのご来場は近隣へのご迷惑となるため、固くお断りしております。但し、車椅子を利用されている等、公共交通機関でのご来場が困難である場合は、お申込みの際にその旨をお申し願います。

お問い合わせ先



日文研

国際日本文化研究センター 研究協力課

京都市西京区御陵大枝町3-2

E-mail: koenkai@nichibun.ac.jp

WEBSITE <http://www.nichibun.ac.jp>

TEL: 075 (335) 2078 FAX: 075 (335) 2092

